

魅力がいっぱい！ 誘いあって 日本平和大会in神奈川へ

平和な日本と世界をつくることをめざす日本平和大会。被爆・戦後 60 年の今年は、沖縄について米軍基地の集中する神奈川県で開きます。

日本を戦争する国にはしたくない——そんな願いに背を向けて、アメリカのブッシュ政権は、日本の米軍基地を世界中で戦争する「中軸」基地として、いっそう強化しようとしています。小泉政権はこれを自治体におしつけ、米軍と自衛隊が海外で一緒に戦争できる体制をつくらうとしています。イラク派兵を続け、憲法 9 条も改悪しようとしています。

日本平和大会はこの危険な動きに反対し、米軍基地も軍事同盟もない、憲法 9 条の輝く平和な日本をめざす大会です。いま、沖縄や神奈川県・座間、横須賀、逗子、山口県・岩国、東京・横田など、米軍基地強化に反対する自治体・住民の運動が広がっています。憲法 9 条を守る共同の輪も広がっています。アジアでも世界でもアメリカの無法な戦争政策に反対し、米軍基地に反対する流れが強まっています。この流れをさらに広げるため、平和大会で共に学び、交流しましょう。



世界に広がる米軍基地反対の運動を交流

自分の目で確かめよう

基地調査行動



04 日本平和大会 in 佐世保・閉会総会

横須賀・逗子コース

(定員 180 名 参加費 5000 円)
横須賀基地は海上から、横須賀基地を調査します。米軍、自衛隊基地などをまわります。逗子は米軍池子住宅地区を逗子と横浜側からみます。

厚木・座間コース

(定員 800 名 参加費 4000 円)
厚木、座間基地をメインに上瀬谷通信施設、ノースドックなど予定しています。

* 両コースとも横浜スタジアムより 8:00~8:30 出発。座間基地集會に合流します。

★オプションツアー(主催:神奈川県実行委員会)11月25日(金)

●横須賀基地調査(三笠公園 集合 13:30 14:30 参加費 2000 円)

●横浜ノースドック調査(県民ホール前 集合 15:30 参加費:乗船 1500 円、大棧橋 500 円)

11・26座間基地集會

11・26米陸軍司令部移転反対座間大集會に合流!! (26 日午後 1 時 30 分~、座間市・谷戸山公園)

米軍座間基地への米陸軍第 1 軍団司令部移転に反対する大集會。大会参加者は、動く分科會に参加し合流します。平和のプラカードや横断幕を持ち寄りましょう!

米軍基地強化ノー!
自衛隊はイラクから撤退を!
憲法 9 条を守れ!

青年大集合!!

開会・閉会総会

平和の運動を豊かに交流

開会集會では、在日米軍の再編など日本で何が起きているのか、どんなたかひのドラマがあるのかなどを、平和大会は初めてという方にもわかりやすく画像も使いながら全国各地から報告します。

閉会集會では、3 日間で学んだことを出し合い、運動をいっそう発展させていくことをみんなで確認し合います。

開会・閉会ともに、神奈川の皆さんを中心とした文化の香り高い平和のメッセージも予定しています。

ピースシャウト2005in神奈川

6 月、横浜での平和イベント「ピースインパクト」を大成功させた神奈川の青年が再び集結。全国の青年を熱くする大集會を企画中です。



ピースシャウト実行委員会スタッフ

多彩な学習・交流の場です

シンポジウム・分科會

シンポジウム・分科會	パネリスト・助言者・特別報告(10月1日現在)
シンポジウム① 米軍基地の再編・強化反対の共同	新原昭治(国際問題研究者) 石川敏(軍事リポーター)
シンポジウム② 憲法 9 条と安保を考える	渡辺治(一橋大学教授、9 条の会) 川田忠明(日本平和委員会常任理事)
分科會①-A 米軍基地のない日本をめざして	小泉親司(前参議院議員)
分科會①-B 米軍基地のない日本をめざして	乾友行(安保破壊中央実行委員会事務局次長)
分科會② 自衛隊の増強・海外派兵くいとめよう	松尾高志(ジャーナリスト)
分科會③ 憲法改悪阻止を草の根から	吉田健一(自由法曹団幹事長)
分科會④ 戦後 60 年—アジアからみる平和教育	チェ・ジョンソン(韓国「全国歴史教師の会」)
分科會⑤ 有事法制の具体化を許さないために	佐藤光雄(日本平和委員会代表理事)
分科會⑥ 被爆 60 年、日本への核持込と安保条約	永沢丈夫(神奈川県水協事務局次長)
分科會⑦ 大増税・福祉破壊・農業つぶしなどからしと安保	相野谷安孝(中央社協事務局次長)
分科會⑧ 環境保護と基地・平和を考える	河井智康(日本科学者会議平和問題研究委員会代表)
分科會⑨ 子どもたちがねらわれている教育や文化に入りこむ自衛隊	有原誠治(アニメ映画監督)
分科會⑩ 軍需産業の実態を考える	渡辺剛(石播争議団原告団長) 野田耕造(日本電波ニュース・プロデューサー)
分科會⑪【青年分科會】-A 安保・基地入門講座~憲法のチカラを知ろう	内藤功(弁護士、日本平和委員会代表理事)
分科會⑪【青年分科會】-B 戦争の傷を直視し、語り継ぐ~日本はアジアで何をしてきたか	袁建軍(中国人留学生)

国際シンポジウム

「米軍基地に反対するアジアと世界の連帯を——アメリカの横暴許さず、平和で公正な世界めざして」

アメリカ: ツィア・ミアン

プリンストン大学教授。パキスタン生まれの物理学者。米政権の軍事・外交政策に精通するとともに、人をひきつける語り口が人気で、若き「ノーム・チョムスキー」ともよばれ、国内メディアや運動団体から常に発言を求められている。

エクアドル: ルイス・サーヴェドラ

2006 年に予定される軍事基地反対世界大会の準備委員会の中心メンバー。同国マント港の米軍基地における、漁船事故や性犯罪、環境破壊などの被害を告発し、その閉鎖をもとめる運動の先頭にたっている。地域人権諮問基金に所属。

オーストラリア: ロビン・スーザン・トーベンフェルド

クイーンズランド州の反基地平和連合。米軍再編では、同州に米軍訓練施設建設や豪軍との共同使用拡大も計画。沖縄駐留の米海兵隊の訓練も想定。同州のグレートバリアリーフは、ジュゴン生息地で、軍事演習反対行動も組織。

韓国:

米軍基地再編・強化のもとで、ピョンテクをはじめ基地闘争の新たな発展がすすんでいる。韓国の運動との連帯は、日本平和大会の重要な柱の一つ。現在、韓国における基地問題・米軍再編にくわしい方を招聘中。